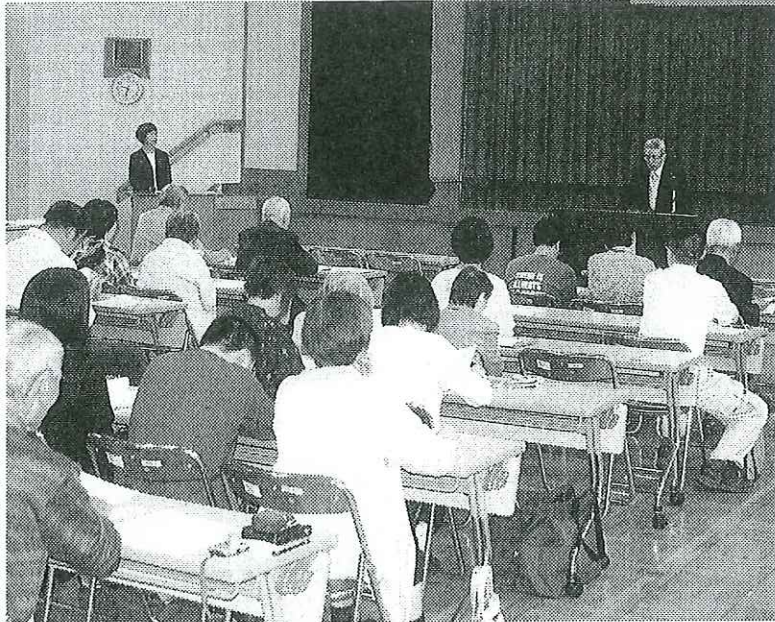


あじさいⅡ

鹿角手をつなぐ親の会

情報誌

令和元年7月・第24号



事業計画などを決めた通常総会

通常総会 「共生社会」構築目指し活動 鹿角手をつ なぐ親子会 研修会や交流会も開く

鹿角手をつなぐ親の会
(兎澤正文会長)の第63
回通常総会が16日、鹿角

市交流センターで開かれ
た。昨年9月鹿角市で開
かれた手をつなぐ育成会

秋田県大会で行った「育
成会の原点である『地域
に根ざした活動』を着実
に実践していく」などと
した大会宣言の実現に向
けた取り組みを意欲的に
進めるなどとした201
9年度事業計画を決めた。
同親の会は、知的障害
がある人を支える家族や
支援者の会。1957年
に当時の花輪町手をつな
ぐ親の会を設立したのが
始まり。

開会行事で兎澤会長は
「少子高齢化で、会員の
減少や若い親世代の加入
が進まず組織の弱体化、
組織のマンネリ化が全国
的に大きな課題となっ
ている。寄り添いながら一
人ひとりが持っている個
性や特性を引き出して

くことが重要。支援学校
との交流を深め、保護者
と心おきなく話し合いの
できる場をつくっていく
ことが会の存続、強化につ
ながっていくと考える」
などといさつした。

事業は▽親の高齢化と
子の重度・高齢化に伴う
諸課題の解決に向けた活
動▽「共生社会」構築の
ための運動▽花輪ふくし
会と愛生会及びその施設
との連携▽次代を担う、
あんず部会と共同しつつ
組織の強化▽組織強化の
ために賛助会員の獲得―
を柱に取り組んでいく。
この中で、「自分が暮ら
していききたい街で、親亡

き後も安心して生活した
い」との声を大切に、人
格と尊厳を守りながら地
域で応援していくシステ
ムづくりを目指す。

総会後の研修会・説明
会では、県手をつなぐ育
成会の高橋精一会長から
「秋田県の差別解消条例」、
ジェイアイシー北東北支
店の佐々木貴志支店長か
ら「生活サポート総合保
障制度」、社会福祉法人
愛生会CCOの木村芳兼
さんから「愛生会の新事
業」についての講話、説
明を聞いた。
この他、本人部会の昼
食会・お楽しみ会も行わ
れた。

第六十一回秋田県大会

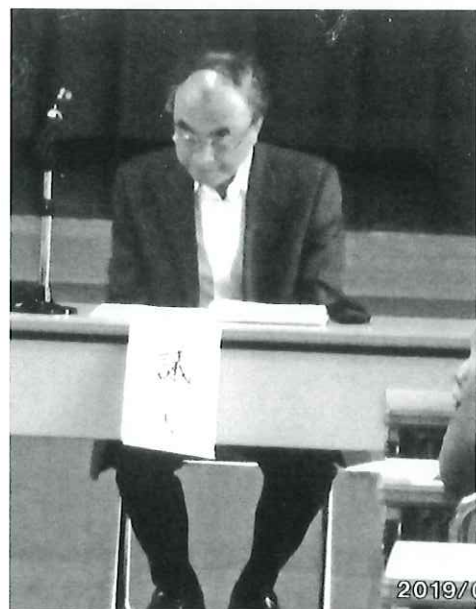
八月四日横手市で開催

当会では、八月三日に鹿角市を出発して
秋田ふるさと村などを見学して、横手市に一
泊、翌日の大会に参加。閉会後すぐに鹿角市
へ帰るコースを企画しました。

参加者は、会員と本人六名に運転手を入れて
十六名になりました。



木村さん



安保さん



高橋 県育成会 会長さん